近隣各位様

エコ・センチュリー21㈱
事業計画ご説明資料

平成24年2月26日

エコ・センチュリー21株式会社

エコ・センチュリー２１　事業体制

事業主：エコ・センチュリー21株式会社

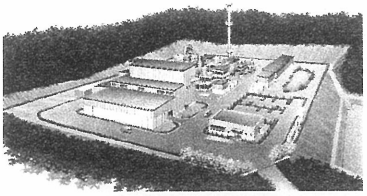
福岡県筑紫野市山家2060-7

施設建設担当（予定）：株式会社タクマ

兵庫県尼崎市金楽寺町2-2-33

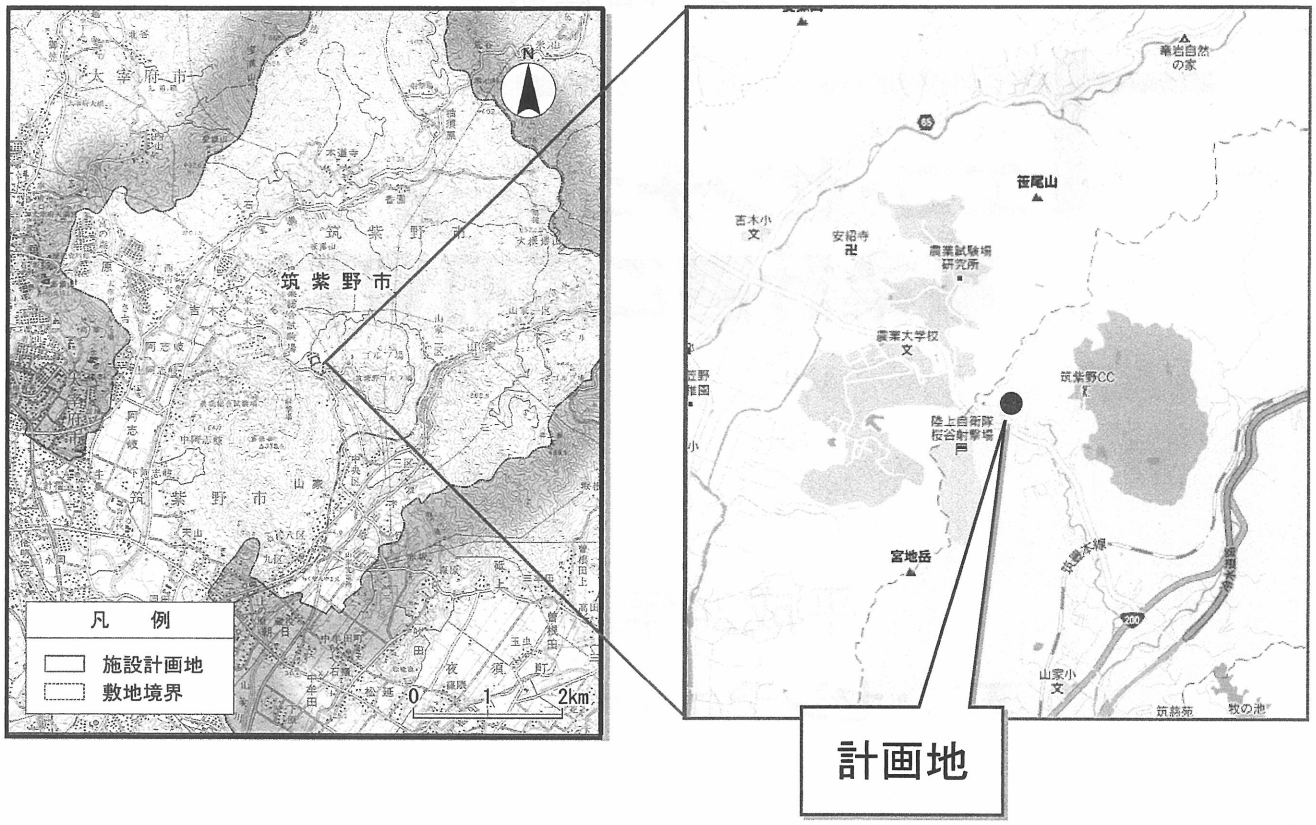
生活環境影響調査担当：財団法人九州環境管理協会

福岡市東区松香台1-10-1



類似施設イメージ図

施設の設置場所



事業の目的

循環型社会の形成推進、リサイクルの導入、ダイオキシン類対策等規制の強化、低炭素社会の構築、地域社会の環境保全など社会の変化により、以前にも増して廃棄物の適正処理が求められる時代になってきております。

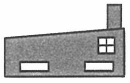
弊社は、この状況に対応し、廃棄物発電など地球温暖化対策をも含めた廃棄物処理の高度化を進めるため、新たに**近代的施設**を建設しようとするものであります。

事業内容

機械工場、食品工場等からの廃棄物

市町村委託の一般廃棄物

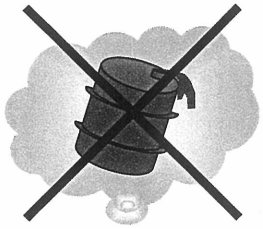
具体的な廃棄物としては
廃プラスチック類、木くず、紙くず等
■これらを受け入れる施設が必要■



収集運搬業者

エコ・センチュリー21株式会社

廃棄物中間処理（焼却・破砕・乾燥・中和）



化石燃料

廃棄物を燃料に発電
適正処理の推進

電気販売

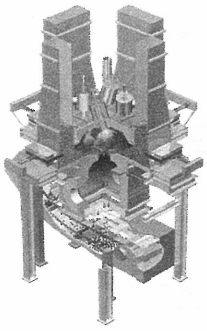
温室効果ガスの削減に貢献

事業内容

さらなる資源リサイクルへ向けて

灰の減容化・安定化

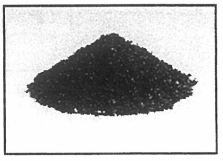
最終処分場の逼迫



エコ・センチュリー21株式会社

溶融施設（第二期工事）

灰の資源化・有効利用
最終処分場の延命化



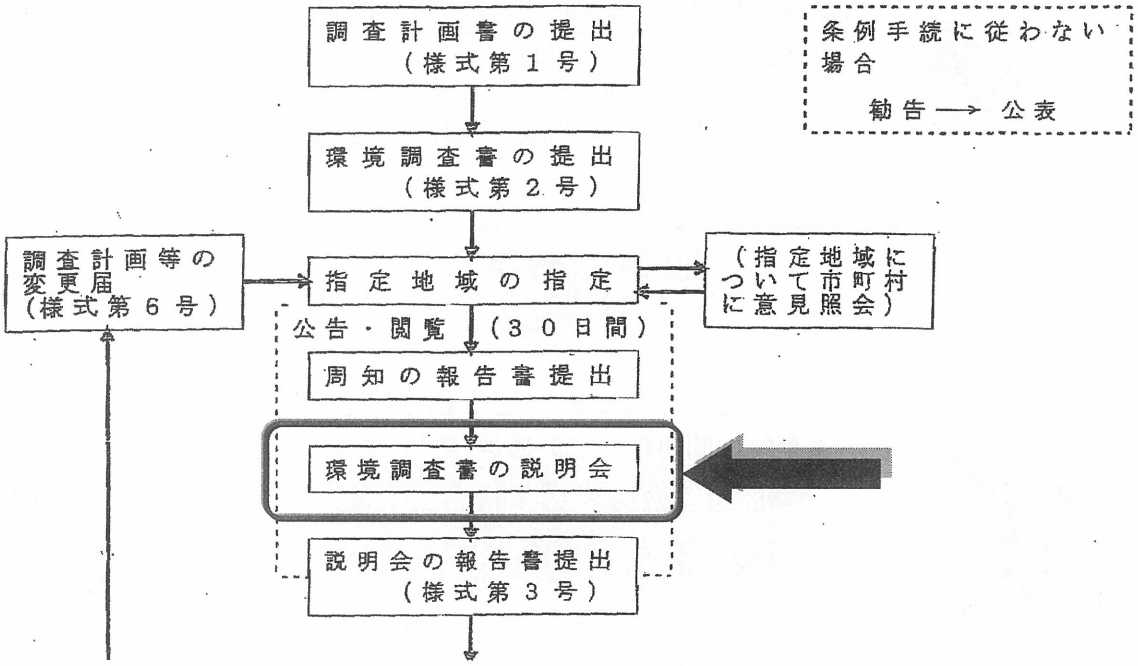
スラグ化

循環型社会の形成に貢献

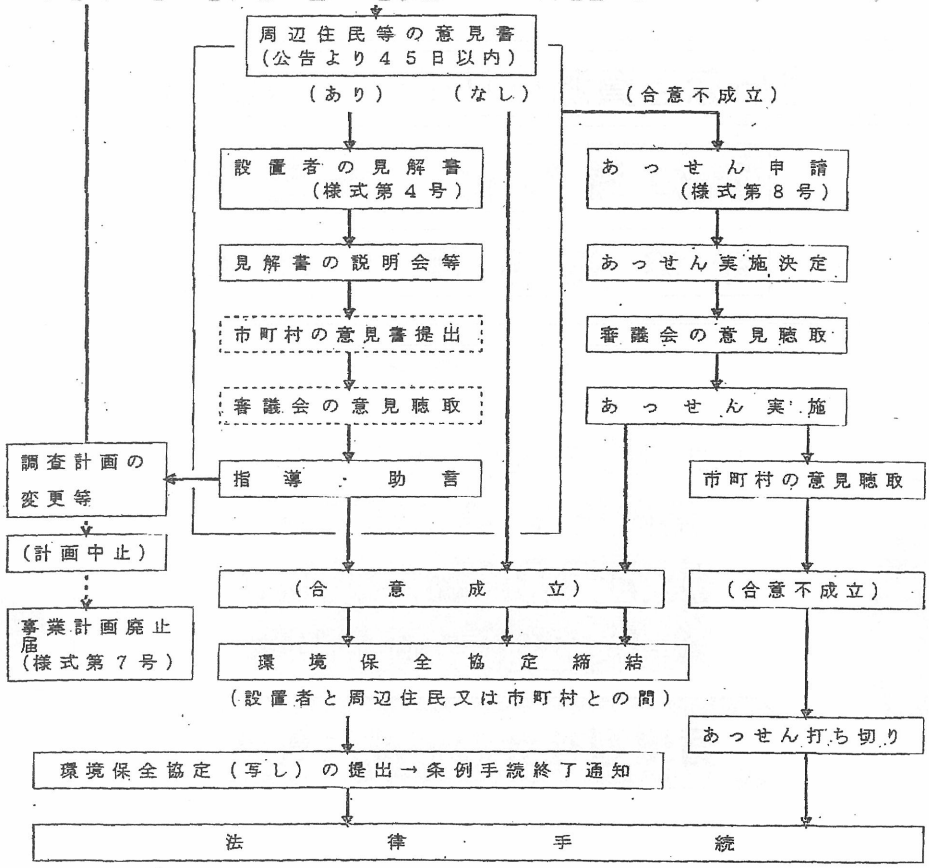
県条例手続の流れ（１）

福岡県産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例

手続フロー図



県条例手続の流れ（２）



エコ・センチュリー21の施設計画概要

➢施設の種類及び処理能力

①汚泥、廃油、廃プラスチック類及びその他の産業廃棄物の焼却施設
一日当たり 90t（計画混焼）

②木くず、ガラスくず等、がれき類の破砕施設
一日当たり 木くず107.6t　ガラスくず等195.8t
がれき類289.7t

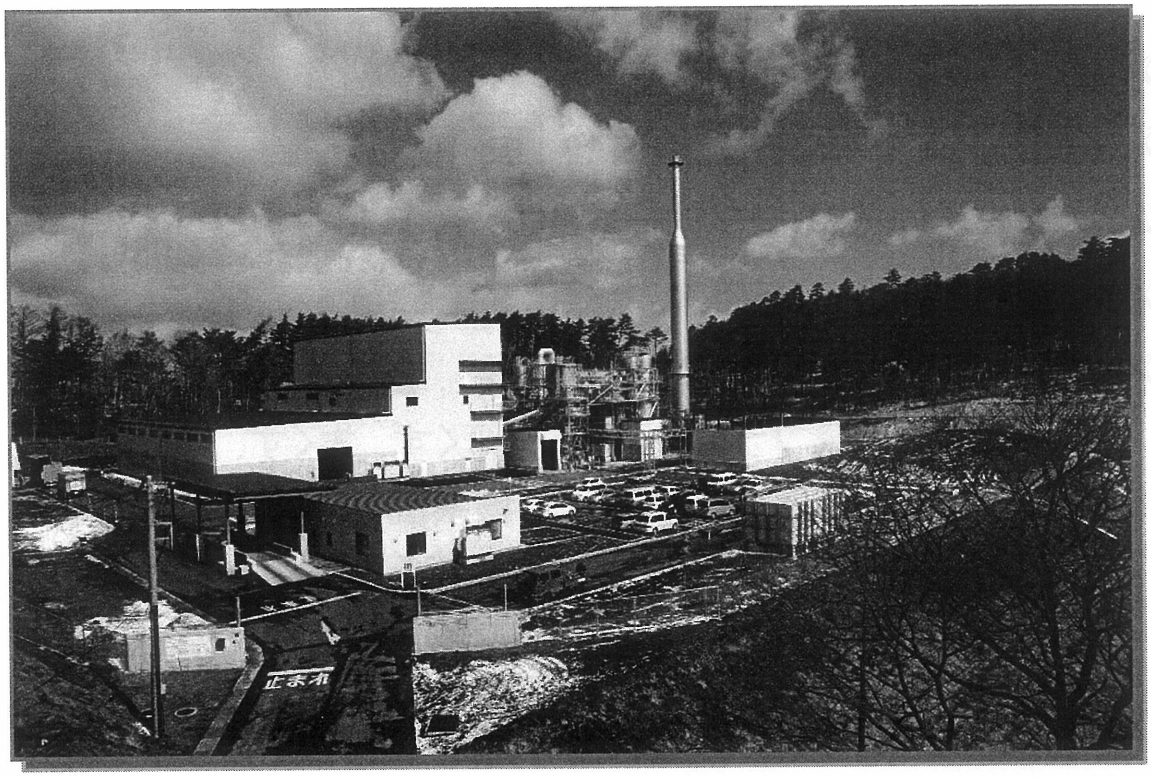
③汚泥の乾燥施設
一日当たり 32.7m^3

④廃酸及び廃アルカリの中和施設
一日当たり 150m^3

焼却の前処理

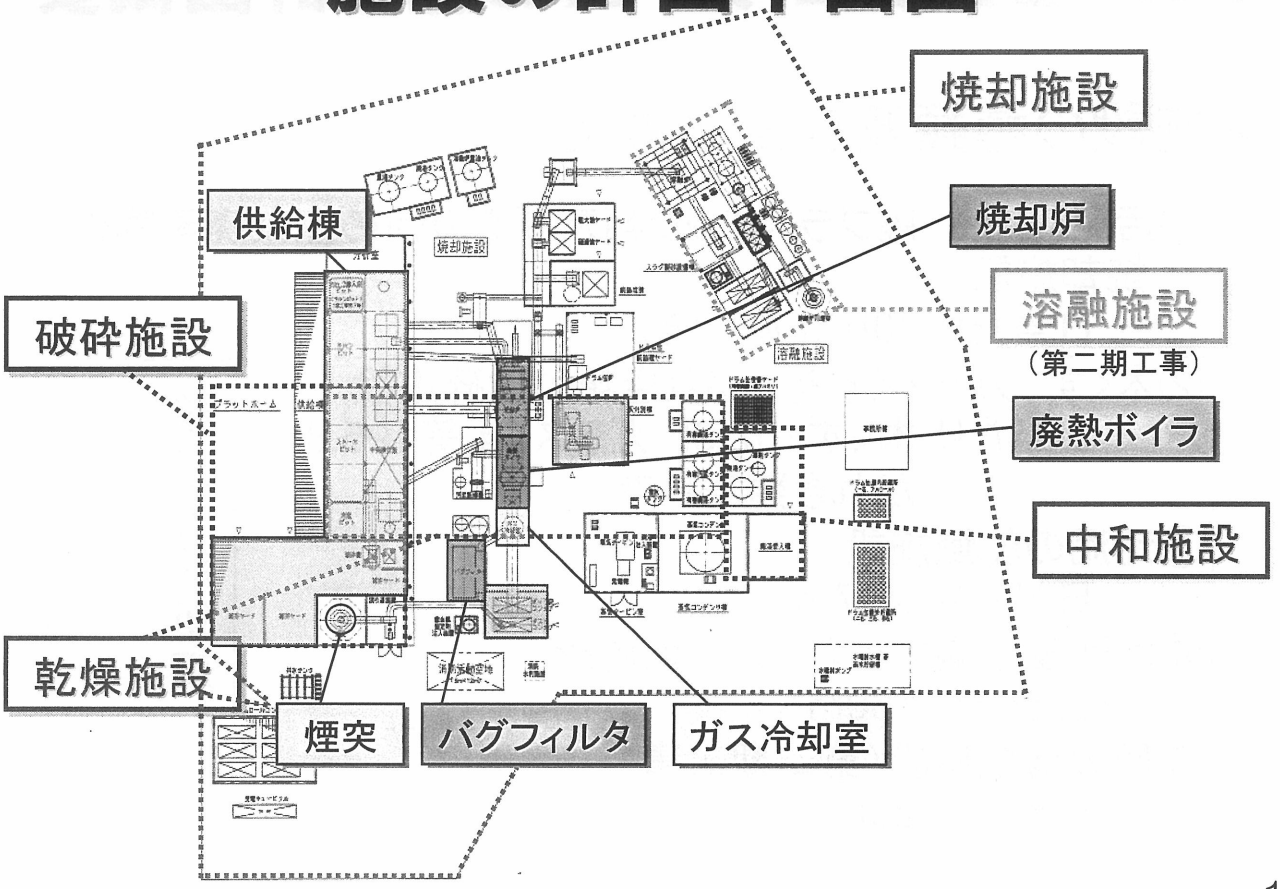
⑤灰の溶融施設（第二期工事）
一日当たり 20t

施設外観イメージ



類似施設の参考写真です

施設の計画平面図



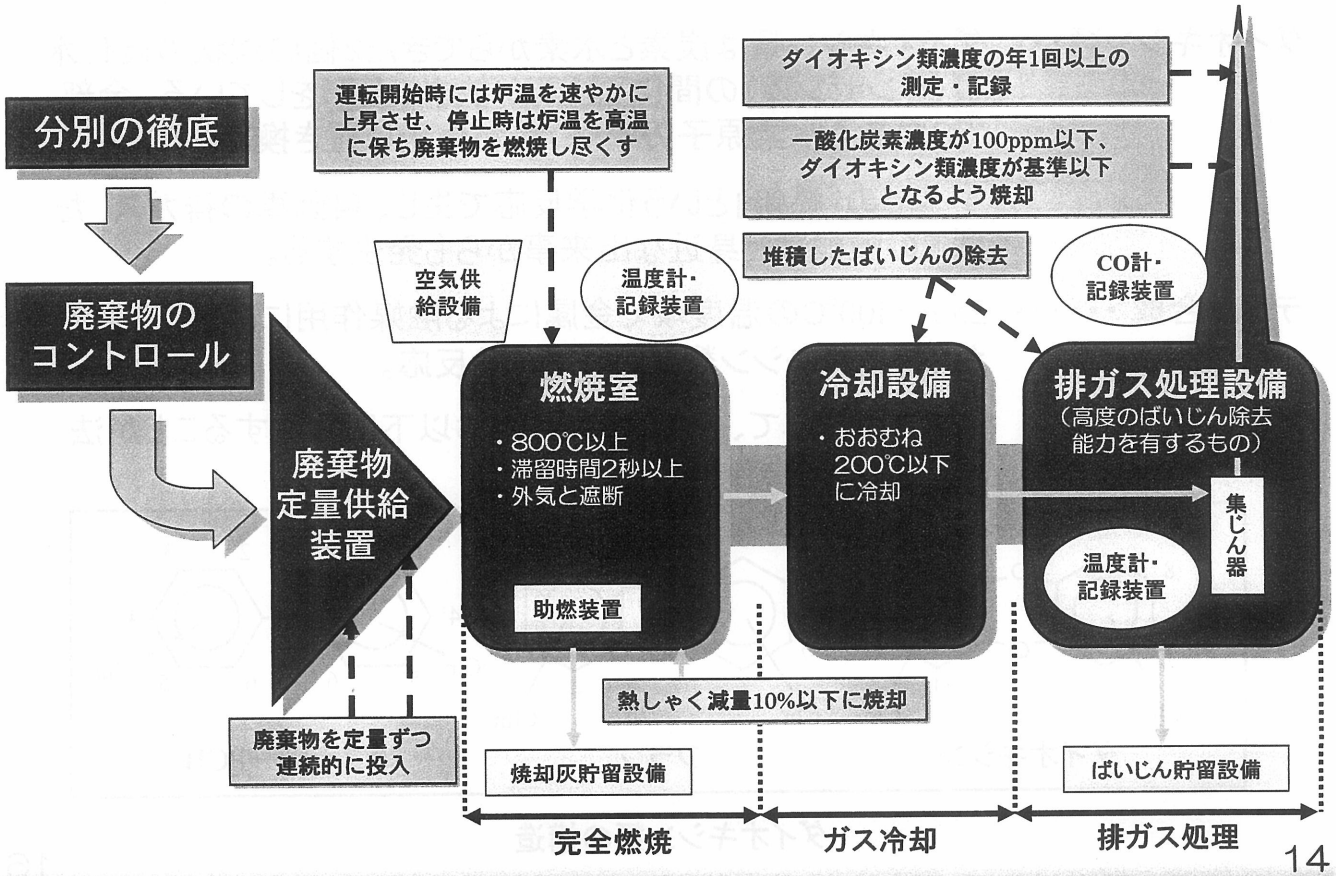
①焼却施設の計画概要

- 施設概要　：焼却施設
- 処理能力　：90トン／日（計画混焼）
- 炉型式　　：ロータリーキルン＆ストーカ炉
- 発電出力　：1,950kW
- 処理物　　：汚泥*，廃油*，廃酸*，廃アルカリ*，
  廃プラスチック類，紙くず，木くず，繊維くず，
  動植物性残さ，動物系固形不要物，ゴムくず，
  感染性廃棄物，一般廃棄物
  ＊印は特別管理廃棄物を含む

焼却処理する産業廃棄物

No.	廃棄物名	計画処理量[t/d]	特別管理	排出元例
1	汚　　泥	17.52	○	下水処理場、食品工場、化学製品工場等
2	廃　　油	2.40	○	化学製品工場、機械工場、自動車工場、ガソリンスタンド、塗料工場、クリーニング工場等
3	廃　　酸	3.60	○	化学製品工場、機械工場、食品工場、医薬品工場、科学技術研究機関等
4	廃アルカリ		○	化学製品工場、機械工場、食品工場、医薬品工場、精錬工場、製材工場、科学技術研究機等
5	廃プラスチック類	19.20		化学製品工場、機械工場、食品工場等
6	紙　く　ず	13.20		印刷工場、製本工場、製紙工場、パルプ工場、新聞印刷工場、建設業等
7	木　く　ず	19.68		木材製造工場、家具工場、建設業等
8	繊維くず	2.40		繊維工場、衣類工場、建設業等
9	動植物性残さ	7.20		食品工場、医薬品工場、香料工場等
10	動物系固形不要物			と畜場、食鳥処理場等
11	ゴムくず	1.20		化学製品工場、医療器具工場等
12	感染性産業廃棄物	3.60	○	各医療機関
	合計	90.00		

構造基準・維持管理基準イメージ



焼却施設が守るべき排ガス基準

項目	法規制値	自主規制値	施設対応	準拠法令
ばいじん	0.08g/m^{3}N以下	0.08g/m^{3}N以下	バグフィルタによる精密集じん	大気汚染防止法
硫黄酸化物	17.5以下 （K値）	4.5以下 （K値）	消石灰吹込みによる中和除去	大気汚染防止法
塩化水素	700 mg/m^{3}N以下	240 mg/m^{3}N以下	消石灰吹込みによる中和除去	大気汚染防止法
窒素酸化物	250 ppm以下	250 ppm以下	燃焼抑制	大気汚染防止法
ダイオキシン類	1.0 ng-TEQ/m^{3}N以下	1.0 ng-TEQ/m^{3}N以下	燃焼抑制＋活性炭噴霧による吸着除去	廃棄物処理法 ダイオキシン特措法
※一酸化炭素	100ppm以下	100ppm以下	燃焼抑制	廃棄物処理法

※ 一酸化炭素は、廃棄物処理法で定める維持管理基準であり、100ppmとは1時間平均値である。

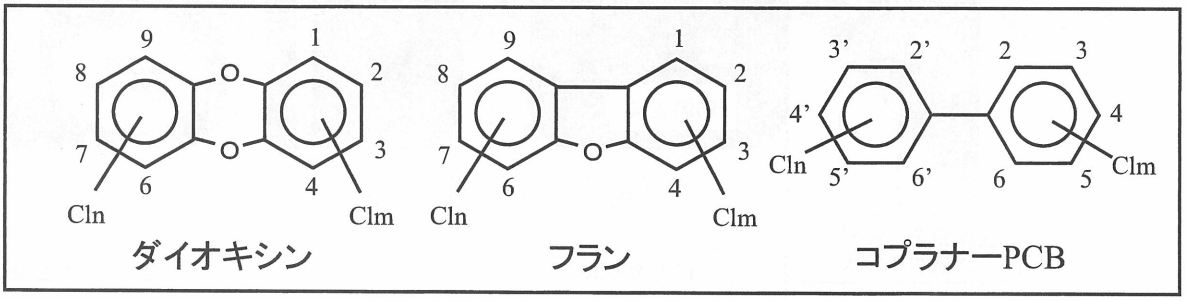
ダイオキシン類について

ダイオキシン類・・・ ダイオキシン類は炭素と水素からできた2個の環状の炭化水素（ベンゼン環）の間に、酸素が挟まった形をしている。全部で8つある水素原子のいくつかが塩素に置き換えられたもの。

すべての「燃焼」という化学反応で生じ、自動車の排ガス、たばこの喫煙など身近な出来事からも発生する。

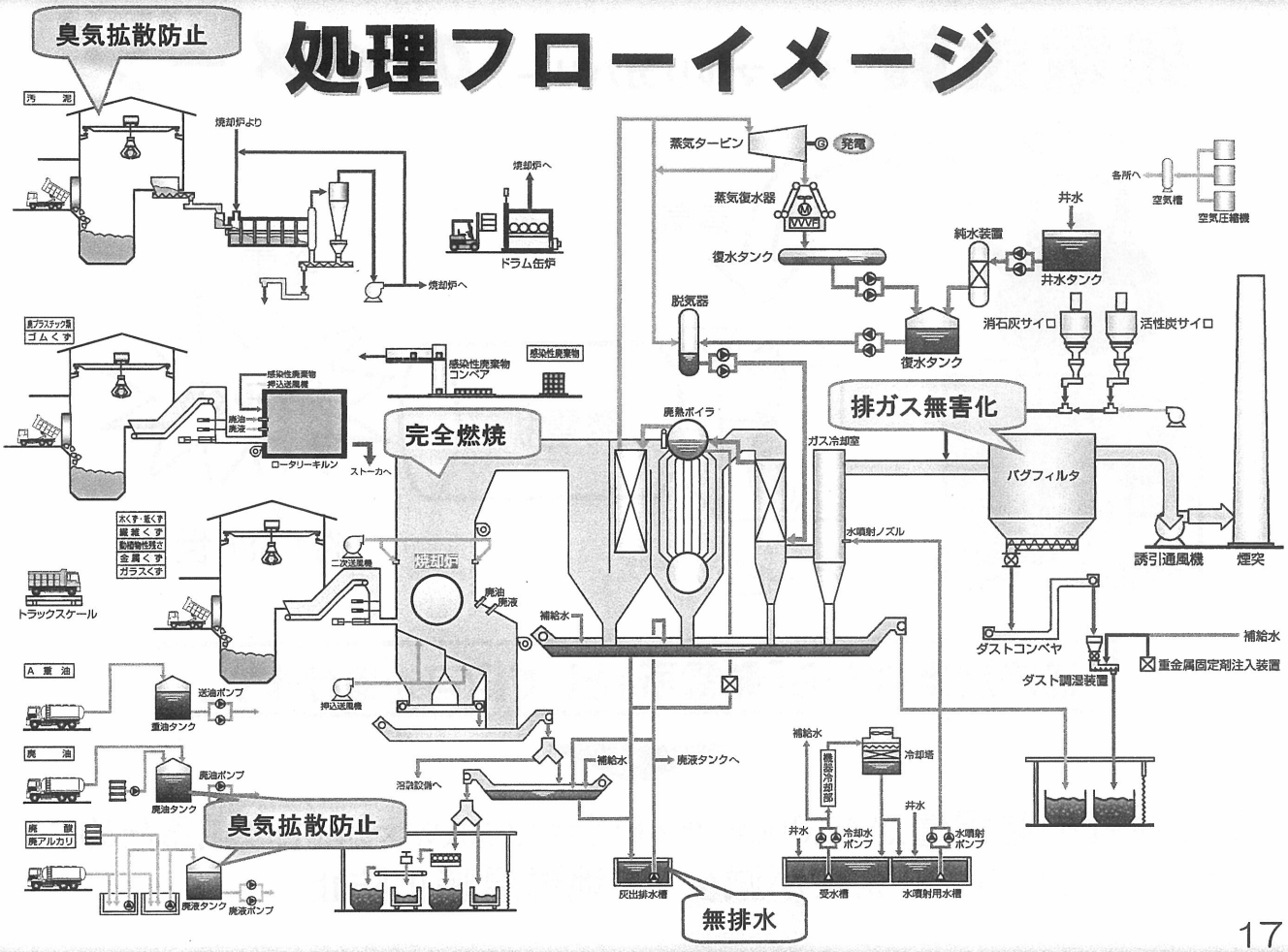
デノボ合成 ・・・・・・ 250～400℃の温度域で金属による触媒作用によって有機物からダイオキシン類が合成される反応。

防止対策として、燃焼ガスを200℃以下に急冷することが法律で定められている。

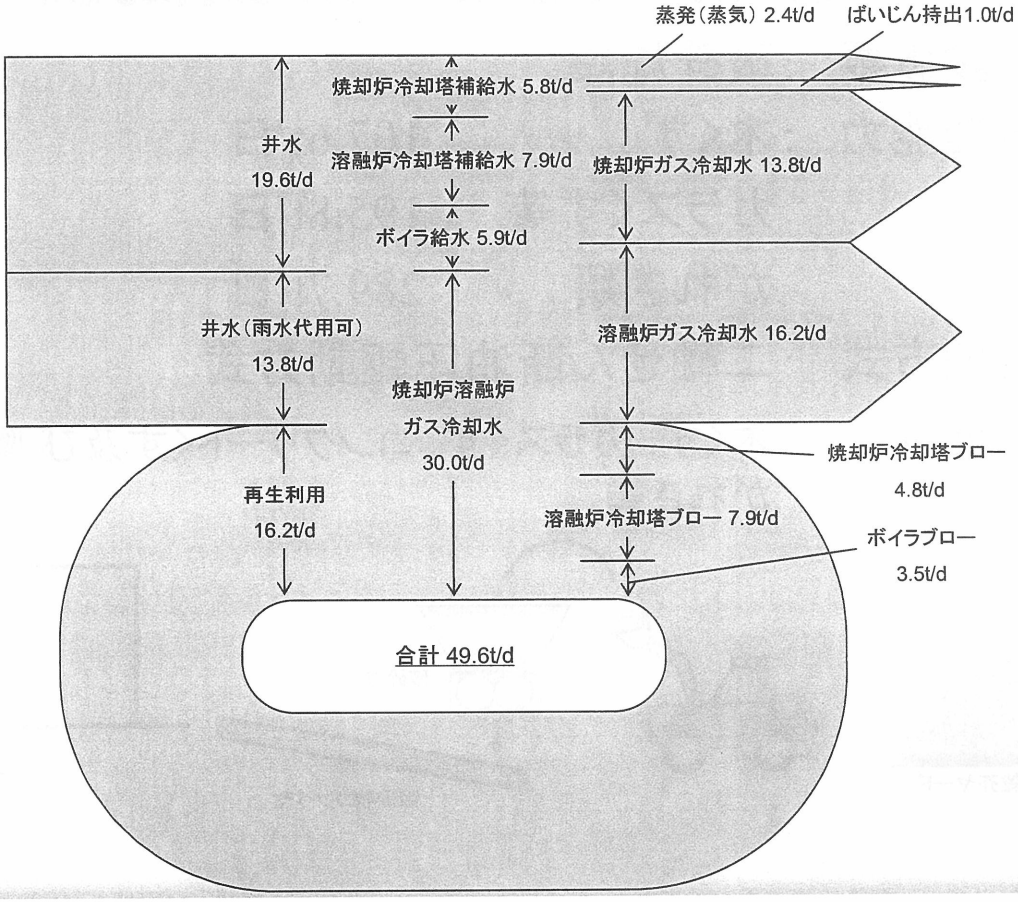


ダイオキシン類の構造

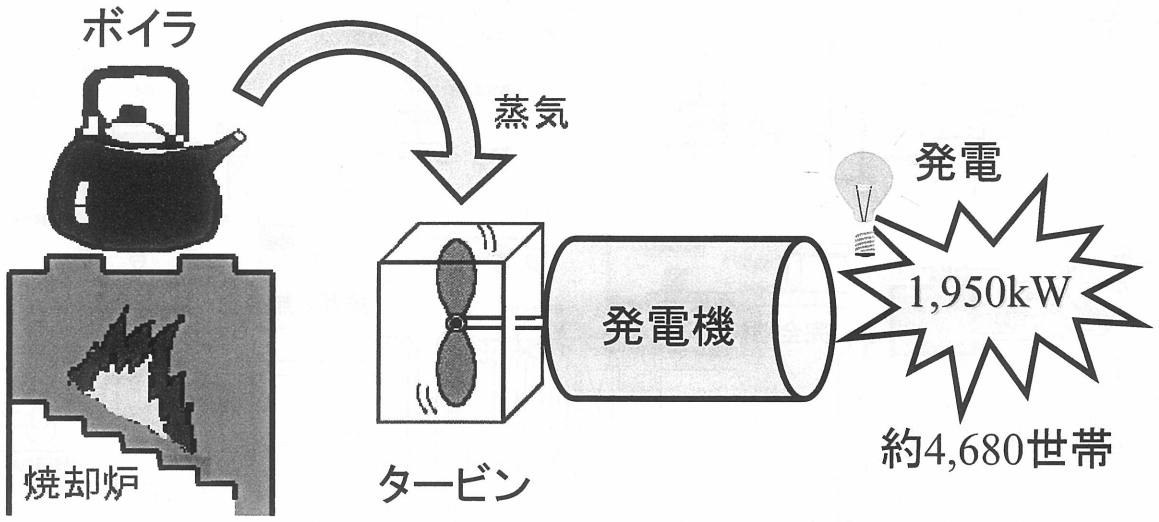
処理フローイメージ



エコ・センチュリー21の水収支図



発電設備（サーマルリカバリー）のイメージ

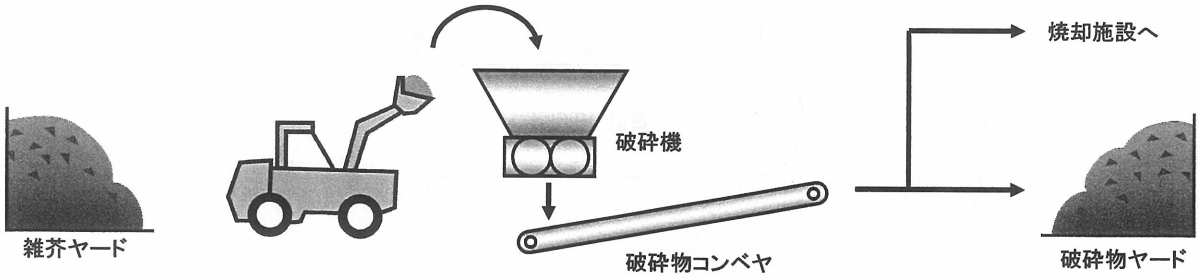


経済産業省から「発電所」として認可を受けます。

電力会社の発電量が46,800kWh/日（＝1,950kW×24h/日）減るため、
それに応じたCO_2の発生が減少 → 地球温暖化防止

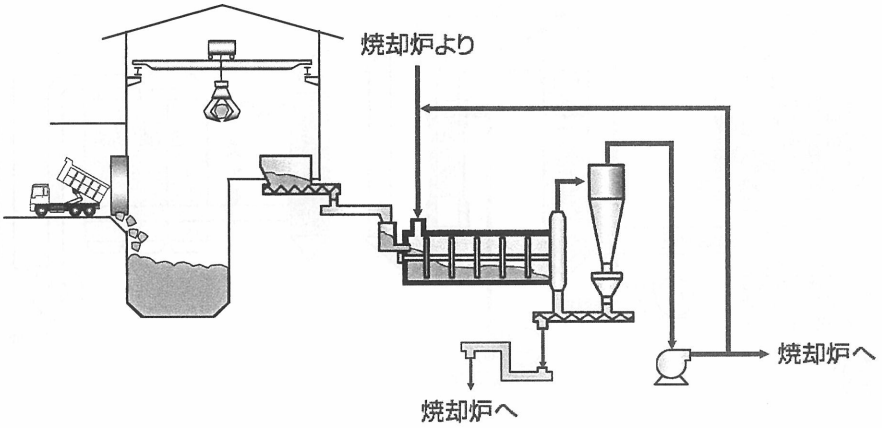
②破砕施設の計画概要

- 施設概要　：破砕施設
- 処理能力　：木くず　107.6t/日
  ガラスくず等　195.8t/日
  がれき類　289.7t/日
- 処理方式　：二軸せん断油圧駆動方式
- 処理物　：木くず，ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず，がれき類



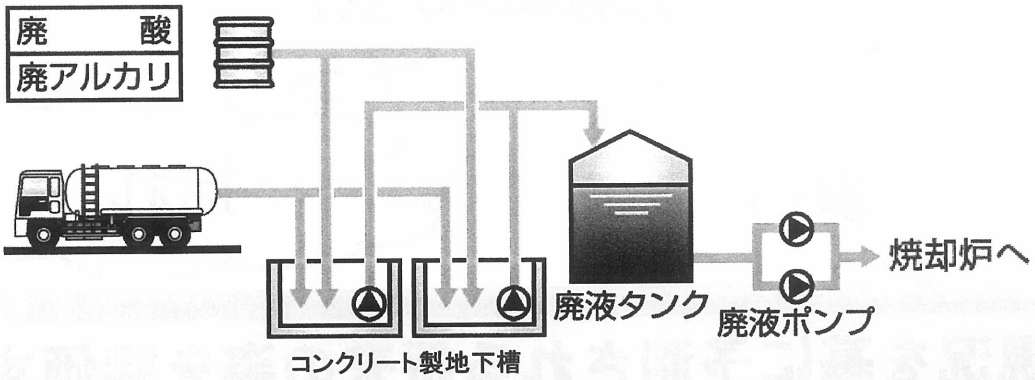
③乾燥施設の計画概要

- 施設概要　:乾燥施設
- 処理能力　:32.7m^3／日
- 処理方式　:燃焼排ガス直接乾燥回転ドラム式
- 処理物　　:汚泥（特別管理廃棄物を含む）



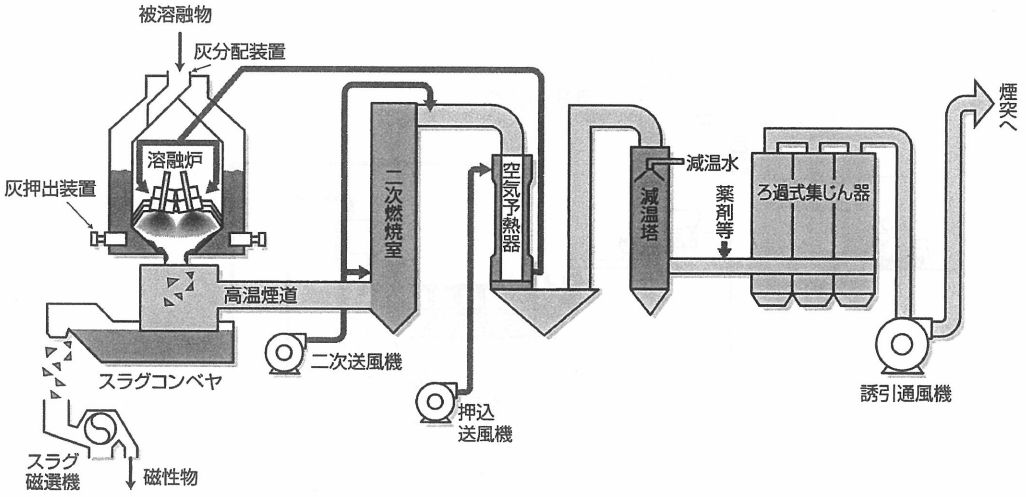
④中和施設の計画概要

- 施設概要　:中和施設
- 処理能力　:150m^3／日
- 処理方式　:コンクリート製地下槽薬液中和撹拌方式
- 処理物　　:廃酸、廃アルカリ



⑤溶融施設の計画概要

- 施設概要　:溶融施設(第二期工事)
- 処理能力　:20トン／日
- 処理方式　:燃料式溶融炉
- 処理物　　:焼却灰



環境調査書の目的

音

排ガス

施設の稼動

運搬車両の走行

臭い

揺れ

現況を基に予測される将来の姿を評価する

環境調査書の説明

1. 生活環境影響調査項目の選定

2. 調査、予測及び影響分析の結果

生活環境影響調査項目の選定

表1　生活環境影響調査の項目（国調査指針に準拠）

調査事項	生活環境影響要因 / 生活環境影響調査項目	煙突排ガスの排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
大気質	二酸化硫黄（SO_2）	○			
	二酸化窒素（NO_2）	○			○
	浮遊粒子状物質（SPM）	○			○
	塩化水素（HCl）	○			
	ダイオキシン類	○			
騒　音	騒音レベル		○		○
振　動	振動レベル		○		○
悪　臭	臭気指数	○		○	

○：調査項目として選定したもの

※　排水の放流がないため、水質汚濁に係る項目は選定しなかった。

調査、予測及び影響分析の結果

(1)大気質

a．煙突排ガスの排出

［調　査］

・風向・風速　・・・　1年間

・二酸化いおう、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、塩化水素、ダイオキシン類　・・・　4季

→いずれも環境基準等に適合

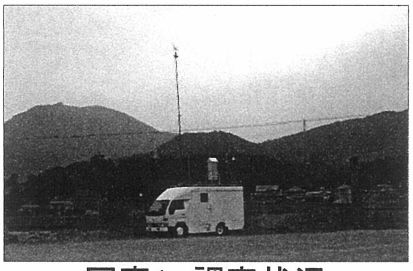


写真1　調査状況

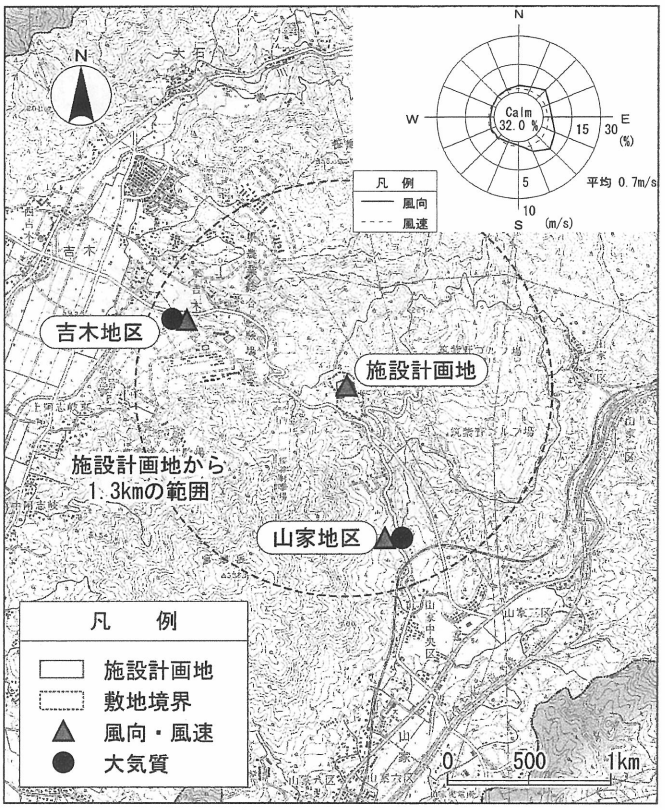


図1　大気質に係る調査地点

調査、予測及び影響分析の結果

［予　測］

・大気拡散式を用いて、影響最大時の大気質濃度を算出

表2　大気質の予測結果

予測対象物質	長期的評価(年平均値)	短期的評価（1時間値）		
		通常時	逆転層出現時	ﾀﾞｳﾝｳｫｯｼｭ発生時
二酸化いおう(SO_2)	○	○	○	○
二酸化窒素(NO_2)	○	○	○	○
浮遊粒子状物質（SPM）	○	○	○	○
塩化水素(HCl)	－	○	○	○
ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類	○	－	－	－

○：環境基準等に適合
－：予測対象外

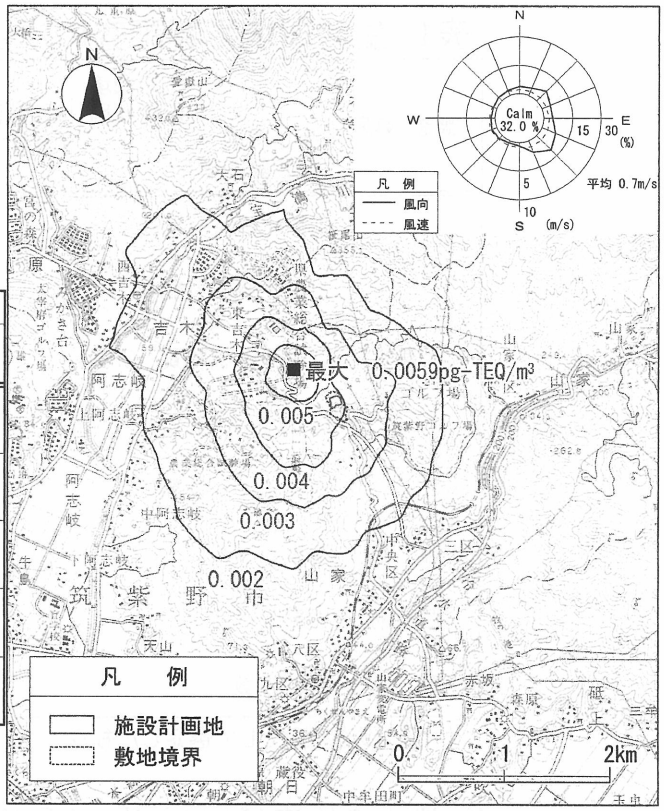


図2　ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類の寄与濃度（年平均値）

調査、予測及び影響分析の結果

b．廃棄物運搬車両の走行

［調　査］

・交通量 ・・・ 1回

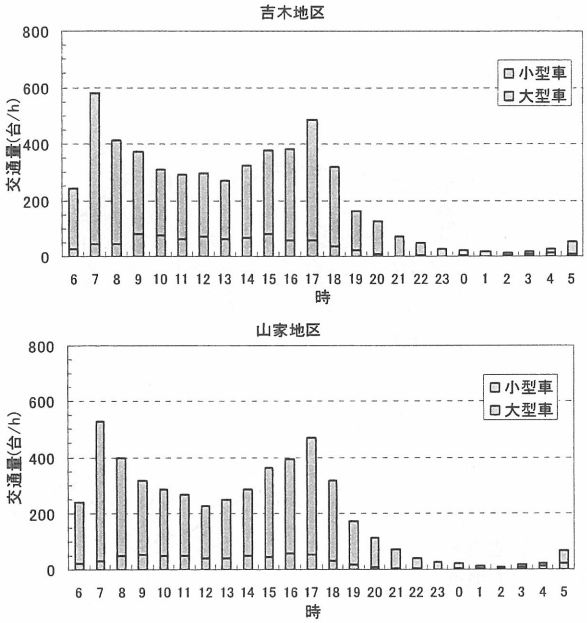


図3 時間別車種別交通量

図4 大気質に係る調査地点

調査、予測及び影響分析の結果

［予　測］

・大気拡散式を用いて大気質濃度を算出

表3 沿道大気質の予測結果

予測対象項目		吉木地区	山家地区	大気汚染に係る環境基準
二酸化窒素	ppm	0.0228	0.0202	0.06以下
浮遊粒子状物質	mg/m^3	0.0565	0.0566	0.1以下

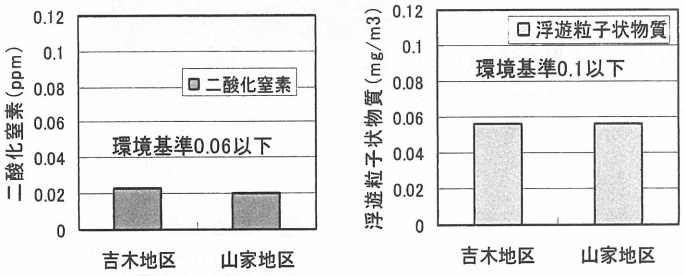


図5 沿道大気質の予測結果

調査、予測及び影響分析の結果

(2)騒　音

a．施設の稼働

［調　査］

・騒音レベル・・・ 1回(24時間)

［予　測］

・音の伝播理論式

表4　施設稼働騒音の予測結果

予測地点		時間率騒音レベル（L_{A5}: dB）		特定工場等の規制基準（第2種区域）
		現況	将来	
敷地境界－東	朝	42	42	50以下（朝・夕・夜間）60以下（昼間）
	昼間	53	53	
	夕	38	38	
	夜間	37	38	
敷地境界－西	朝	44	45	
	昼間	52	52	
	夕	42	43	
	夜間	41	42	

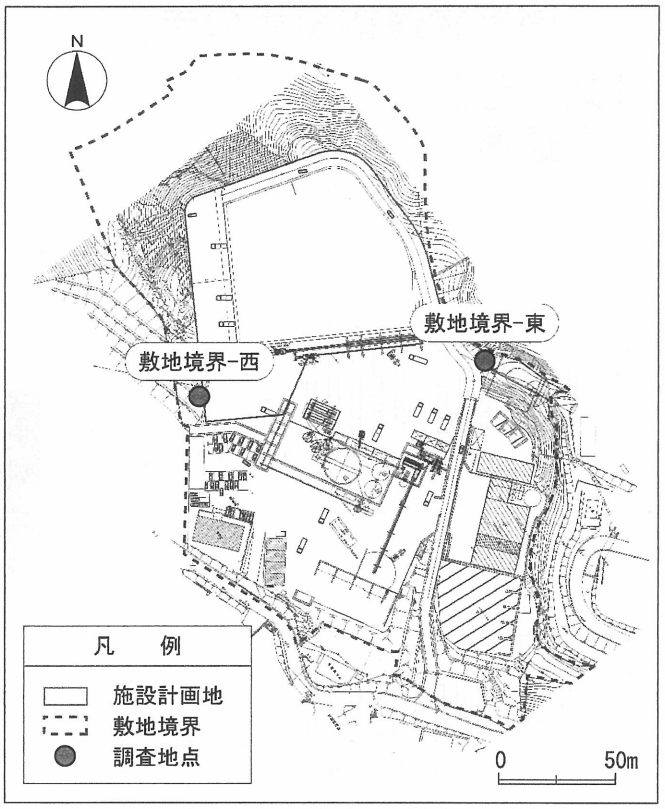


図6　騒音に係る調査地点

調査、予測及び影響分析の結果

b．廃棄物運搬車両の走行

［調　査］

・道路交通騒音レベル、交通量　　・・・ 1回 (12時間)

［予　測］

・予測モデル(ASJ RTN-Model 2008) を用いて、騒音レベルを算出

図7　道路交通騒音の予測結果

調査、予測及び影響分析の結果

(3)振　動

a．施設の稼働

［調　査］
・施設稼働振動レベル、
　　・・・ 1回(24時間)

［予　測］
・80％レンジの上端値を求める式を用いて、振動レベルを算出

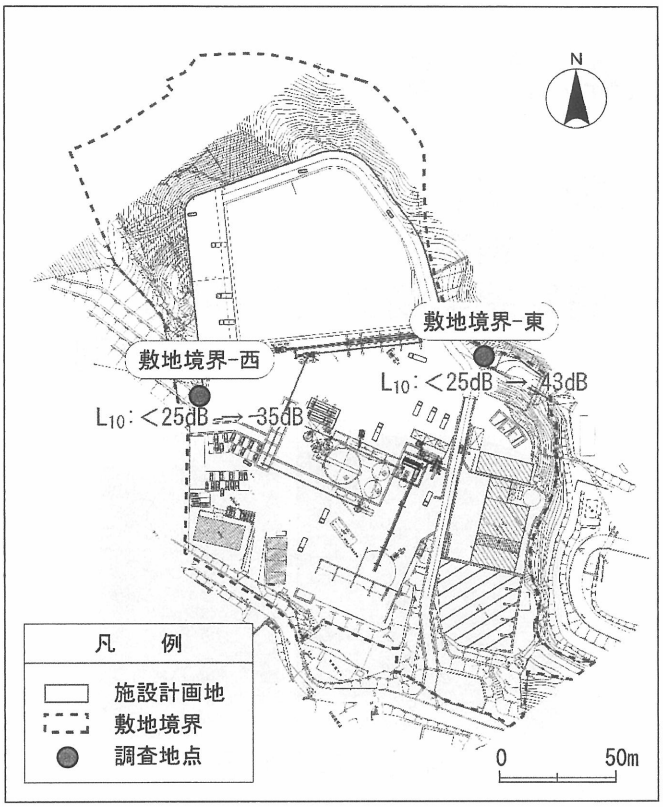


図8　振動の予測結果

調査、予測及び影響分析の結果

b．廃棄物運搬車両の走行

［調　査］
・道路交通振動レベル、
　交通量　　・・・ 1回(12時間)

［予　測］
・建設省土木研究所提案式を用いて、振動レベルを算出

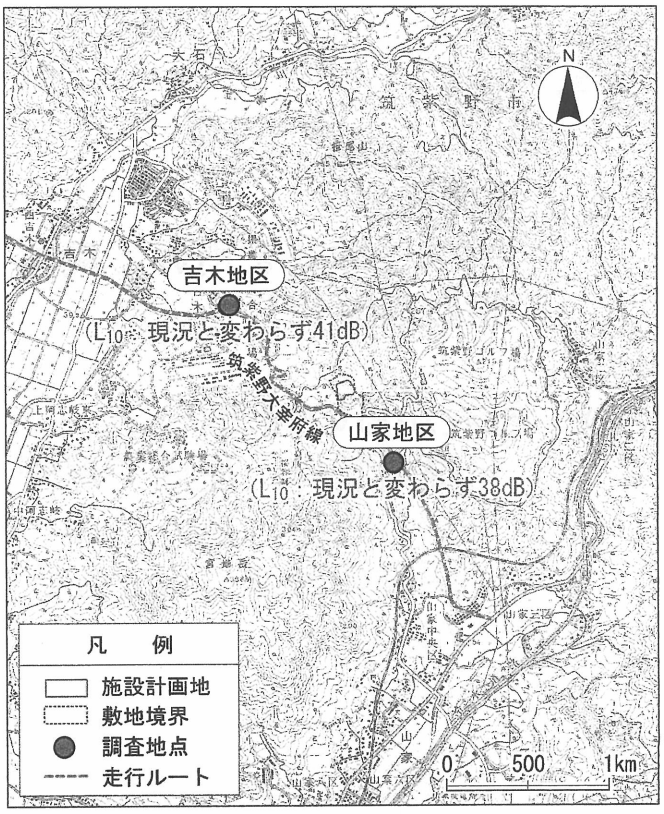


図9　振動の予測結果

調査、予測及び影響分析の結果

(4)悪　臭

［調　査］

・臭気指数、
特定悪臭物質（22物質）
・・・ 1回

写真2　調査状況

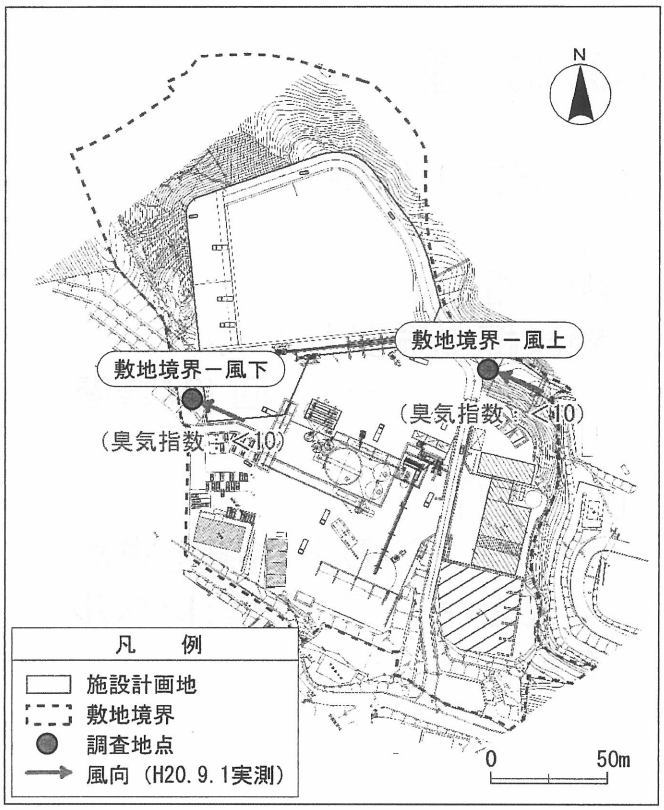


図10　悪臭の調査地点

調査、予測及び影響分析の結果

［予　測］

a．煙突排ガス
大気拡散式を用いて臭気指数を算出

b．施設からの漏洩
→廃棄物は、屋内で保管するため、棟外への悪臭の漏洩はほとんどない。

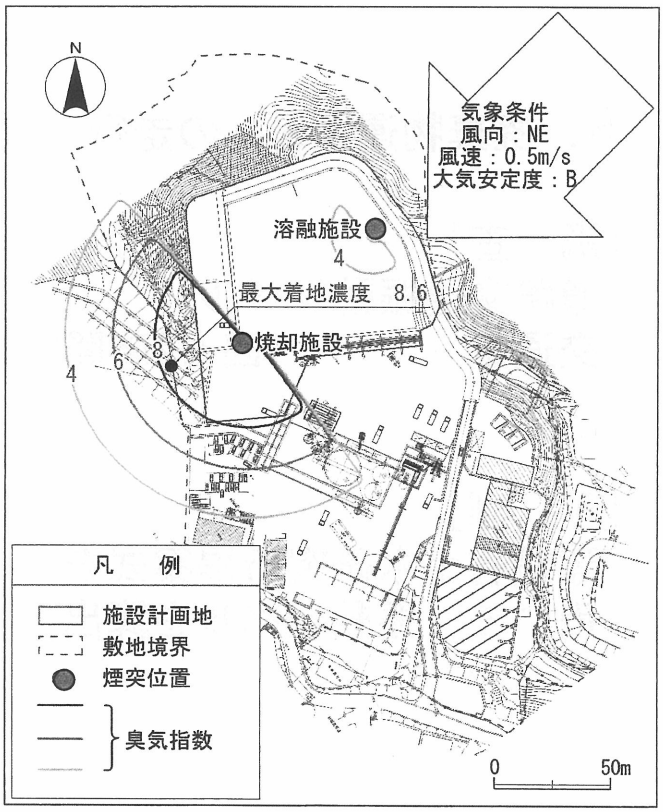


図11　臭気指数の予測結果

生活環境影響調査の結果

表5　生活環境への影響の分析結果

調査事項	生活環境影響要因 / 生活環境影響調査項目	煙突排ガスの排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
大気質	二酸化硫黄	適切な運転管理により、将来の大気質は環境基準等に適合する。 例）ダイオキシン類の予測結果（長期予測）は、基準値の1/20以下。			交通量の増加は2%未満であり、大気質は現況とほとんど変わらない。
	二酸化窒素				
	浮遊粒子状物質				
	塩化水素				
	ダイオキシン類				
騒　音	騒音レベル		敷地境界における変化は最大1dBであり、規制基準に適合する。		騒音レベルは、現況とほとんど変わらない。
振　動	振動レベル		敷地境界の振動レベルは、「無感」に相当する。		振動レベルは、現況とほとんど変わらない。
悪　臭	臭気指数	最大着地濃度（臭気指数9）は、規制基準を満足する。		廃棄物は屋内保管するため、漏洩はほとんどない。	

エコ・センチュリー２１株式会社
事業計画説明参考資料

説明資料の他に、以下の資料を添付いたします。

●第1回、第2回の説明会でご説明しました資料で、今回の説明資料で触れていない資料。

●説明資料をご理解いただく上での参考資料。

エコ・センチュリー２１株式会社〈事業主〉

エコ・センチュリー２１株式会社

企業データ

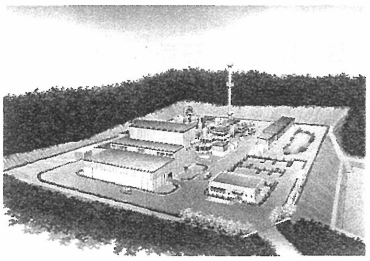
所 在 地　：福岡県筑紫野市大字山家2060-7

資 本 金　：２,000万円

会社設立　：平成２０年９月登記

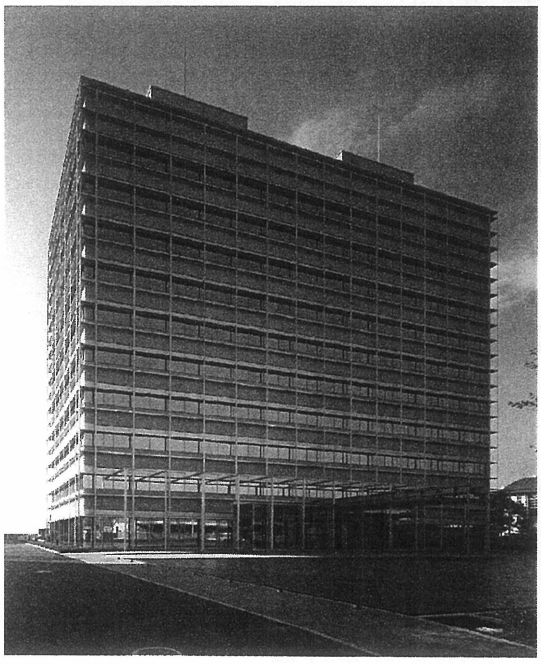
敷地面積　：約１２,７００ m^2

事業内容　：廃棄物中間処理業



類似施設イメージ図

株式会社タクマ〈プラント〉



タクマビル

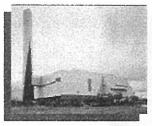
播磨工場

ISO 9001・14001認証取得

国連グローバル・コンパクト参加

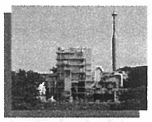
会社の商号　株式会社タクマ（TAKUMA CO., LTD.）
本　社　〒660-0806　兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
TEL 06-6483-2609　FAX 06-6483-2751（代表）
代表者　取締役社長　手島　肇
設　立　昭和13年6月10日
資本金　133億6,745万7,968円（平成23年3月31日現在）
事業内容　各種ボイラ、機械設備、公害防止プラント、
環境設備プラント、冷暖房ならびに給排水衛生設備の
設計、施工及び監理、土木建築、
その他工事の設計、施工及び監理
従業員　749名 平均年令43.3歳（平成23年3月31日現在）

タクマの実績



➢都市ごみ焼却施設　660基以上

➢粗大ごみ処理・リサイクル施設　75施設



➢産業廃棄物処理施設　120基以上

➢石炭ボイラ　1,000基以上

➢バイオマスボイラ　550基以上

➢資本参加環境事業会社　8社

福岡県内納入実績

➢都市ごみ焼却施設　16施設 35基
北九州市（皇后崎）殿、福岡市（新西部）殿　等

➢粗大ごみ処理施設　5施設
福岡市（東部）殿、田川郡東部環境衛生施設組合殿　等

➢民間産業廃棄物処理施設　1施設

財団法人九州環境管理協会〈アセス〉

（福岡県認可 財団法人 昭和46年企第598号）

本　部　〒813-0004　福岡市東区松香台１丁目10番１号
TEL（092）662-0410　FAX（092）662-0424

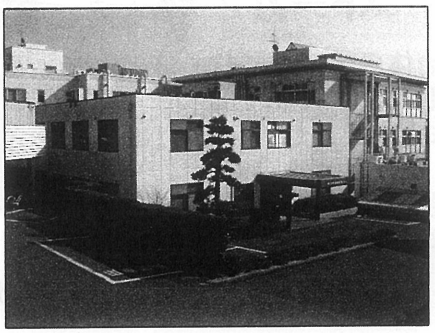
代表者　持田　勲

設　立　昭和46年10月

ISO 9001
01QR-0470
調査分析部

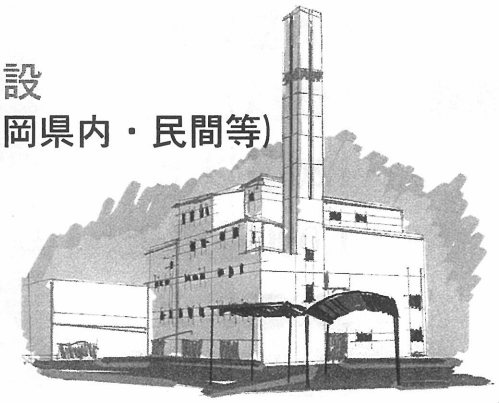
エコアクション21
認証登録番号0003013

登録内容　建設コンサルタント、測量法に基づく測量業者
計量法に基づく計量証明事業、特定濃度に係る計量証明の事業
ダイオキシン類受注資格、温泉成分分析機関
水道法に基づく専用水道の適正検査業務
建築物における衛生的環境の確保に関する水質検査業務
作業環境測定機関
調査分析部 ISO9001認証
水文調査トレーサ及び水文調査法
骨材のアルカリシリカ反応性試験
エコアクション21

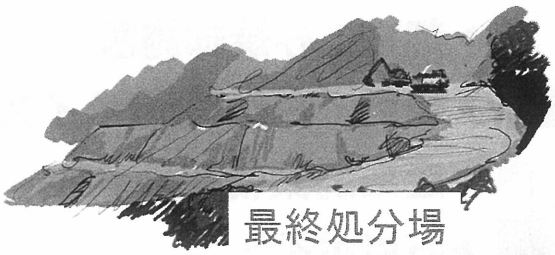


職　員　102名

生活環境影響調査の実績



焼却施設
4件（福岡県内・民間等）



最終処分場
5件（熊本県内・民間等）

し尿処理施設
2件（旧穂波町等）

破砕・選別施設
2件（長崎市等）

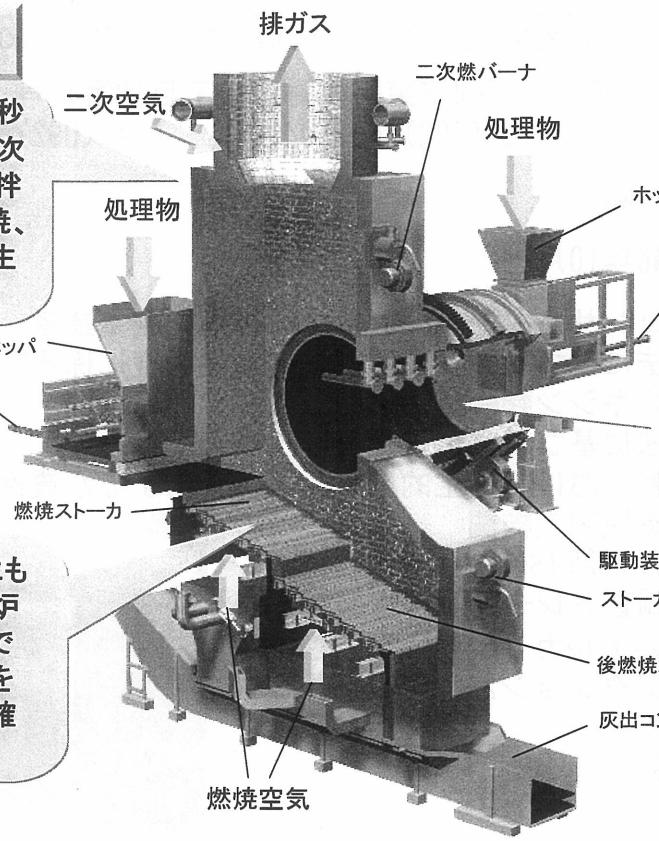
廃液処理施設
1件（福岡県内・民間）

※その他、法律・条例・要綱に基づくアセスの実績　10件以上

キルン＆ストーカ炉模式図

二次燃焼室

800℃以上の温度、2秒以上の滞留時間、二次空気による十分な撹拌混合により、完全燃焼、ダイオキシン類の発生を抑制。



キルン

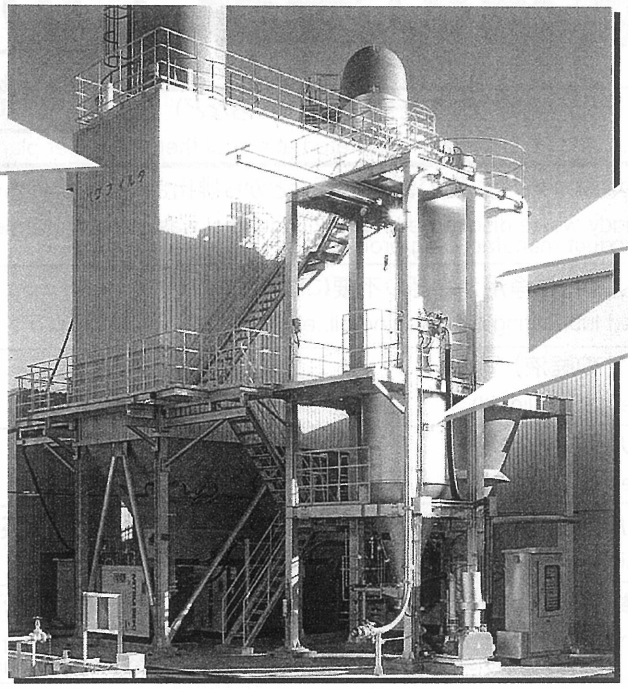
流動性のある廃棄物の処理に適した炉です。大部分を焼却した後、ストーカに合流させ、完全燃焼させます。

ストーカ

自治体の焼却施設にも多数採用されている炉形式で、実績も豊富です。下から燃焼空気を吹き込み、ゆっくりと確実に燃焼させます。

排ガス処理設備

排出基準に適合するように排ガスを清浄化する設備です。



バグフィルタ

目の細かい「ろ布」で、ばいじんを濾しとります。同時に薬剤と有害成分を反応させ、ろ布で除去します。

消石灰サイロ

活性炭サイロ

排ガス中の有害成分と反応させる薬剤を貯留します。

ブロワにより排ガス中に吹き込みます。

産業廃棄物処理施設の法律上の分類

本事業で建設を計画する施設

施設区分		（廃棄物の種類）	【許可対象】
中間処理施設			
脱水施設		（汚泥）	【処理能力 10m³/日超】
乾燥施設		（汚泥）	【処理能力 10m³/日超】
天日乾燥施設		（汚泥）	【処理能力 100m³/日超】
油水分離施設		（廃油）	【処理能力 10m³/日超】
中和施設		（廃酸又は廃アルカリ）	【処理能力 50m³/日超】
破砕施設	（廃プラスチック類）		【処理能力 5t/日超】
破砕施設	（木くず又はがれき類）		【処理能力 5t/日超】
コンクリート固型化施設		（有害物質を含む汚泥）	【全ての施設】
ばい焼施設		（水銀又はその化合物を含む汚泥）	【全ての施設】
溶融施設		（廃石綿等又は石綿含有産業廃棄物）	【全ての施設】
分解施設		（廃酸又は廃アルカリに含まれるシアン化合物）	【全ての施設】
分解施設		（PCB廃棄物）	【全ての施設】
洗浄施設又は分離施設		（PCB廃棄物）	【全ての施設】
焼却施設	（汚泥）		【処理能力 5m³/日超、200kg/時間以上、火格子面積 2m²以上】
焼却施設	（廃油）		【処理能力 1m³/日超、200kg/時間以上、火格子面積 2m²以上】
焼却施設	（廃プラスチック類）		【処理能力 100kg/時間超、火格子面積 2m²以上】
焼却施設	（PCB廃棄物）		【全ての施設】
焼却施設	（その他の産業廃棄物）		【処理能力 200kg/時間以上、火格子面積 2m²以上】
最終処分場			
遮断型処分場			
安定型処分場			
管理型処分場			

産業廃棄物の法律上の分類①

焼却処理対象外

1	燃え殻 Cinders	(石炭火力発電所から発生する石炭がらなど) (Coal cinders or the like generated at a coal-thermal power plant)
2	汚　泥 Sludge	(工場廃水処理や物の製造工程などから排出される泥状のもの) (muddy waste discharged from an industrial wastewater treatment system or from a product manufacturing process)
3	廃　油 Waste oil	(潤滑油、洗浄用油などの不要になったもの) (used lubricating oil, cleaning oil, etc.)
4	廃　酸 Waste acid	(酸性の廃液) (used acidic liquid)
5	廃アルカリ Waste alkali	(アルカリ性の廃液) (used alkaline liquid)
6	廃プラスチック類 Waste plastics	(合成樹脂くず、合成繊維くず、合成ゴムくず等合成高分子系化合物) (resin, synthetic textile, synthetic rubber)
7	紙くず Wastepaper	(紙製造業、製本業などの特定の業種及び工作物の新築、改装(増築を含む)又は除去に伴って排出されるもの) (generated from specific industries such as paper manufacturers, bookbinders and new, remodels (including extension) or removement of construction materials)
8	木くず Chips, sawdust and pallet	(木材製造業などの特定の業種及び工作物の新築、改装(増築を含む)又は除去に伴って排出されるもの及び貨物の流通のために使用したパレット) (generated from specific industries such as lumber mills and new, remodels (including extension) or removement of construction materials and used pallet of cargo distribution)
9	繊維くず Waste textile	(繊維工場及び工作物の新築、改築(増築を含む)又は除去に伴って排出されるもの) (generated from textile mills and new, remodels (including extension) or removement of construction materials)
10	動植物性残渣 Animal & vegetable remnants	(原料として使用した動植物に係る不要物) (left unused by the food processing industry)
11	動物系固形不要物 Waste animal-solidified	(と畜場等から発生した動物に係る固形状の不要物) (left unused animal-solidified from a slaughterhouse)
12	ゴムくず Waste rubber	
13	金属くず Metal scrap	
14	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず Glass,concrete & ceramics	
15	鉱さい Mining Waste	(製鉄所の炉の残さいなど) (remnant generated in ironworks furnaces)
16	がれき類 Demolition debris	(工作物の除去に伴って生じたコンクリートの破片など) (concrete fragments and the like left after demolition)
17	動物のふん尿 Animal manure	(畜産農業から排出されるもの) (generated from raising livestock)
18	動物の死体 Animal carcasses	(畜産農業から排出されるもの) (generated from raising livestock)
19	ばいじん類 Soot & dust	(工場の排ガスを処理して得られるばいじん) (generated as a result of treating the exhaust gas from a plant)
20	上記の19種類の産業廃棄物を処分するために処理したもの Processed material for the disposal of the 19 types of industrial waste listed above	(コンクリート固型化物など) (such as concrete-solidified waste)
21	1～20の廃棄物、航行廃棄物、携帯廃棄物を除く輸入された廃棄物 Imported waste excluding the 20 types of waste listed above, flight or voyage waste, and hand-carried waste	

焼却処理対象外

出典：産業廃棄物ガイドブック(平成21年3月　社団法人 全国産業廃棄物連合会　作成)

産業廃棄物の法律上の分類②

特別管理産業廃棄物

廃油
Waste oil

揮発油類、灯油類、軽油類の燃えやすい廃油
Flammable waste oil such as gasoline, kerosene

《関連事業》紡績、印刷、香料製造、医薬品製造、石油精製、クリーニング、科学技術研究、その他
Applicable businesses/industries: Spinning, printing, perfume manufacturing, medicine manufacturing, oil refining, cleaning, science & technology research, etc.

廃酸
廃アルカリ
Waste acid waste alkali

pH2.0以下の酸性廃液、pH12.5以上のアルカリ性廃液
Waste acid at pH2.0 or lower and waste alkali at pH12.5 or higher

《関連事業》カセイソーダ製造、無機顔料製造、無機・有機化学工業製品製造、アセチレン誘導品製造、医薬・試薬・農薬製造、金属製品製造、石油化学工業製品製造、非鉄金属製造、ガラス・窯業、科学技術研究、その他
Applicable businesses/industries: Caustic soda manufacturing, inorganic pigment manufacturing, inorganic and organic chemicals manufacturing, acetylene-derived products manufacturing, medicine, reagent, agricultural chemicals manufacturing, metallic products industry, petrochemicals manufacturing, non-ferrous metals manufacturing, glass & ceramics manufacturing, science & technology research, etc.

感染性産業廃棄物
Medical industrial waste

感染性病原体を含むか、その恐れのある産業廃棄物（血液の付着した注射針、採血管など）
Industrial waste containing infectious pathogens (such as injector needles and blood-collecting tubes)

《関連事業》病院、診療所、衛生検査所、老人保健施設、その他
Applicable businesses/industries: Hospitals, medical clinics, medical analysis facilities, senior's health care facilities, etc.

特定有害産業廃棄物
Special designated hazardous industrial waste

廃PCB等 PCB汚染物
PCB waste and PCB-contaminated substances

- 廃PCB及びPCBを含む廃油
- PCBが塗布された紙くず、PCBが付着、もしくは封入された廃プラスチック類、金属くず、陶磁器くず、がれき類など
- PCB waste and waste oil containing PCBs
- Wastepaper coated with PCBs and waste plastics, metallic waste, ceramics or demolition debris contaminated by PCBs

廃石綿等
Asbestos waste

- 建築物、その他の工作物から除去した飛散性の吹き付け石綿・石綿含有保温材やその除去工事から排出されるプラスチックシートなどで、石綿が付着している恐れのあるもの。また、石綿が飛散するおそれのある断熱材及び耐火被覆材
- 大気汚染防止法の特定ばいじん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
- Sprayed asbestos or asbestos-based insulating materials and refactory investment materials
- Asbestos collected by a dust collector system

《関連事業》建設、解体、造船、機械修理、その他
Applicable businesses/industries: Construction, wrecking contractors, ship building, machine repair services, etc.

焼却処理対象外

有害産業廃棄物
Hazardous industrial waste

水銀、カドミウム、鉛、有機リン化合物、六価クロム、砒素、シアン、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1-2-ジクロロエタン、1-1-ジクロロエチレン、シス-1-2-ジクロロエチレン、1-1-1-トリクロロエタン、1-1-2-トリクロロエタン、1-3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物を基準値以上含んでいる、汚泥、鉱さい、廃油、廃酸、廃アルカリ、燃え殻、ばいじんなど

PCBを基準値以上含む汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリは焼却処理対象外
鉱さい、燃え殻、ばいじんは焼却処理対象外

respective compounds.

《関連事業》無機顔料製造、無機・有機化学工業製品製造、医薬・試薬・農薬製造、金属製品製造、石油化学工業製品製造、非鉄金属製造、ガラス・窯業、科学技術研究、めっき、クリーニング、その他
Applicable businesses/industries: Inorganic pigment manufacturing, inorganic and organic chemicals manufacturing, medicine, reagent, agricultural chemicals manufacturing, metallic products industry, petrochemicals manufacturing, non-ferrous metals manufacturing, glass & ceramics manufacturing, science & technology research, plating, cleaning, etc.

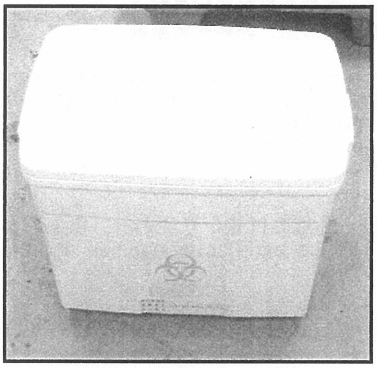
出典：産業廃棄物ガイドブック（平成21年3月　社団法人 全国産業廃棄物連合会　作成）

感染性廃棄物とは

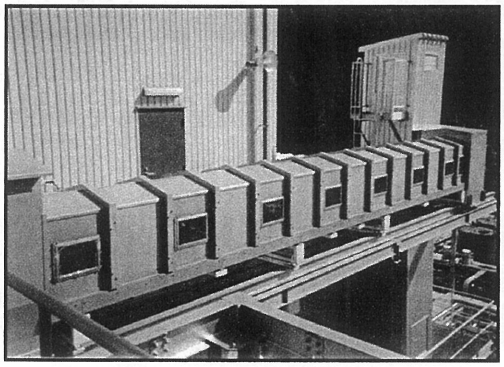
病院等の医療機関関係から排出される感染性の病原体の付いたまたは付いている恐れのある廃棄物。使用済みの注射針や血液の付いたガーゼなどが該当する。

公衆衛生の保持等の観点から、より安全に配慮した取扱いを要するものであり、他の廃棄物と分別して取扱う。

感染性廃棄物は、内容物が飛散・流出するおそれのない専用容器で保管し、運搬する。



専用保管容器例



焼却炉への専用供給装置例

維持管理記録の公表

平成22年度の法改正により、平成23年4月1日より改正廃棄物処理法が施行され、廃棄物処理施設の維持管理記録について、公表することが義務付けられました。施設の運営管理がますます透明化されています。

主な公表項目	廃棄物処理量、燃焼室温度、集じん機入口温度、排ガス測定記録　等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

（産業廃棄物処理施設の維持管理等）

第十五条の二の三　産業廃棄物処理施設の設置者は、環境省令で定める技術上の基準及び当該産業廃棄物処理施設の許可に係る第十五条第二項の申請書に記載した維持管理に関する計画に従い、当該産業廃棄物処理施設の維持管理をしなければならない。

2　産業廃棄物処理施設の設置者は、当該産業廃棄物処理施設の維持管理に関する計画及び当該産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報であって環境省令で定める事項について、環境省令で定めるところにより、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。

（法文より抜粋）

ダイオキシン類について

ダイオキシン類の耐容一日摂取量（TDI）

中央環境審議会並びに生活環境審議会及び食品衛生調査会において、合同で科学的見地からの検討が行われ、平成11年6月21日にその報告書がとりまとめられ、同25日のダイオキシン対策関係閣僚会議で了承されました。

その結論の要点は、

ダイオキシン類の当面の耐容一日摂取量（TDI）を、これまでのダイオキシン類（PCDD及びPCDF）のほかにコプラナーPCBを含め、4pg-TEQ／kg体重／日とする（1日体重1kg当たり4pg-TEQ）。

なお、動物試験では、TDIの算定根拠とした試験結果の水準以下でも微細な影響が認められていることから、今後とも調査研究を推進していくことが重要である。

というものです。

なお、この耐容一日摂取量（TDI）は、生涯にわたって摂取し続けた場合の健康影響を指標とした値であり、一時的にこの値を多少超過しても健康を損なうものではありません。

また、ダイオキシン類の耐容一日摂取量（TDI）は、最も感受性の高いと考えられる胎児期におけるばく露による影響を踏まえて設定されています。発がんなどの影響についてはより高いばく露でないと観察されません。

4pg-TEQ のTDI は、動物実験で得られた結果を人に当てはめる際に、不確実性を見込んでさらに10分の1の数値に設定しています。

出典：関係省庁共通パンフレット　ダイオキシン類2009

本日は、ご多忙の折、説明会にご参加を賜りまして、ありがとうございました。

循環型社会の構築、低炭素社会の実現、そして、地域の産業発展と環境保全のために、全力を挙げて邁進していく所存です。

今後共、何卒よろしくお願いいたします。

エコ・センチュリー21株式会社